

多様な人材の活躍支援



「D&Iウィーク」での経営層と女性従業員の対話集会

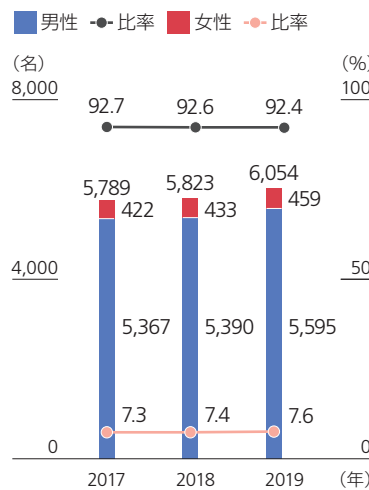
基本的な考え方

国際的な視野に立って事業を推進するために、「グローバルでハイパフォーマンス」という人材像を掲げ、優秀な人材の採用と、体系的な人材育成制度、公正・公平な評価制度の構築に注力しています。

制度の設計や運用にあたっては、「個人の尊重」「自発性」「多様性・クロスファンクショナル」「チームワーク」「情熱・責任感」「オープンな対話」といった価値観を重視するとともに、従業員意識調査の結果などを踏まえ、一人ひとりの能力を最大限に発揮できる働きやすい職場づくりに努めています。

従業員データ(2019年12月31日現在)

従業員数(直接雇用)



新卒採用者数 **225名**

キャリア採用者数 **232名**

国籍数 **28カ国**

アイルランド、アメリカ、インド、インドネシア、ウクライナ、オーストラリア、カナダ、韓国、シンガポール、スウェーデン、スペイン、スリランカ、タイ、中国、ドイツ、日本、ネパール、バングラデシュ、フィリピン、ブラジル、フランス、ベトナム、ベルギー、ポーランド、マレーシア、南アフリカ、ミャンマー、モンゴル

ダイバーシティ&インクルージョンの理解と浸透

ダイバーシティ^{*1}は会社の業績向上に不可欠であるという考えのもと、従業員のさまざまな違いを尊重しています。また、人材の多様性を高め、個人が最大限に能力を発揮できる環境を築くことで、持続的な成長をめざしています。

定期的実施している従業員意識調査では、主に性別、国籍、年齢でダイバーシティの度合いを、チームの一員として必要とされていると感じているかなどを問う質問でインクルージョン^{*2}の浸透度を評価し、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)マネジメントの強化を図っています。さらに毎年10月には、社内イベント「D&Iウィーク」を開催し、ベストプラクティスの共有などを通じて、従業員のD&Iに対する意識の深化に取り組んでいます。

こうしたD&Iの取り組みの一環として、国籍を問わず採用の門戸を広げており、2019年は64名の外国籍新入社員を迎え、組織の国際化・多様性をさらに高めています。

^{*1}性別、国籍、人種、年齢、性的指向、宗教、政治に対する信条、社会経済的地位、身体能力など、異なる背景や視点をもつ人々のこと。

^{*2}自身の存在を尊重され、評価されていると感じること。また、周囲からの支援と関与を感じること。

能力開発の支援

現在の業務だけでなく、将来重要となる知識や能力の開発・向上に継続的に取り組んでいます。幅広い研修プログラムや管理システムの導入、トレーニング施設の充実などを進めるとともに、従業員の積極的な学びや自己開発を支援しています。

2018年からは、従業員が自ら学ぶ企業風土づくりをめざし、「ラーニング

デー」という啓発イベントを開催しています。2019年はさらに「キャリア」にも焦点を当て、将来のキャリア設計や、それを実現するための能力開発や学習計画に役立つ情報や手法などについてのセッションを行いました。

対話による成果・成長・信頼の醸成

上司やチームメンバーとの継続的な対話を促進しています。業務の優先度や進捗確認、改善提案や能力開発などを話し合い、フィードバックを得ることを通じて、業務の成果だけでなく、個人の成長や同僚との信頼関係の構築にもつなげています。

フレキシブルな就労環境

従業員が仕事とプライベートを効率的に両立できるよう、各種制度やポリシーなどを整え、ワークライフバランスの充実に支援しています。

個別の働き方を支援する 主な制度・ポリシーなど

- 育児休職制度
- 介護休職制度
- 取得制限を設けないテレワーク制度
- コアタイムを設けないフレックスタイム制度
- 職場での尊厳に関するポリシー（ハラスメント防止策）
- 定時退社促進活動

コミュニケーションの活性化

UDトラックスでは、従来から対話集会や「フィーカ^{*}」、イントラネットなどを通じて社内のコミュニケーションの円滑化に取り組んできました。2019年はこれをさらに進め全従業員がいつでもどこでも必要な情報を閲覧・発信・共有できる大規模なデジタルプラットフォームを導入しました。

これにより、従来は会社のPCに限られていた業務システムなどへのアクセスが、個人のPCやスマートフォン、タブレットからも可能になりました。組織やプロジェクトチーム内での情報共有や意見交換も容易になり、国や階層を越えた従業員同士の交流が活性化しています。また、従業員が多様な情報に接することで、会社に対する理解の促進や業務改善意識の向上にもつながっています。

^{*}スウェーデンでティーブレイクを利用して行われるカジュアルな対話。

健康と安全

従業員が健康で安心して働ける職場の実現のために、継続的に取り組んでいます。

安全健康週間

2019年は7月1日～7日を「安全健康週間」と定め、健康セミナーや体力測定、ストレッチ教室などを実施しました。また、労働災害防止についての啓発活動を展開しました。

ストレスチェックテスト

メンタルヘルス不調の予防のために、従業員のストレスチェックテストを実施しています。結果によって、医師やカウンセラーとの面談を促しているほか、医師からの助言に基づき、業務内容の見直しなどを行っています。

